



# 関ロータリークラブ

URL <http://www.seki-rc.org/> E-mail [seki-rc@abelia.ocn.ne.jp](mailto:seki-rc@abelia.ocn.ne.jp)  
TEL (0575)22-9332 FAX(0575)22-9977

RID2630 ROTARY CLUB OF SEKI ■会長 今峰 徹 ■副会長 大澤竜一 ■幹事 池村真一郎



2016~17 年度国際ロータリーテーマ  
「人類に奉仕するロータリー」 ROTARY SERVING HUMANITY

RI 会長 ジョンF. ジャーム  
2016~17 年度 関ロータリークラブテーマ  
「おもいやり」 第51代会長 今峰徹

第 2436 号 平成 28 年 10 月 25 日 (火)

### 前例会の記録・第 2435 回 10 月 18 日(火)12:30

「元号“平成”と字名“平成”(へなり)を回顧」  
パスト会長 山村誠示さん

- ◆開会点鐘
- ◆「それでこそロータリー」斉唱
- ◆会長挨拶



皆様こんにちは  
本日は山村パスト会長の卓話です。  
山村さんは 26 代の関 RC 会長で、太田  
元医師会長は 25 周年実行委員長をされた  
時の会長です。山村さんは、今年度の  
ガバナーと同様出席を大切にされ、テーマ  
は「みんなの参加」でした。

25 周年の事業として、物故会員の法  
要、台湾苑裡ロータリークラブとの再締結、美川憲一  
ディナーショーに会員夫人を招待されました。本日山村  
さんからのどのようなお話になるか楽しみです。

### ◆委員会報告

◎出席委員会 委員 酒向徳享  
会員 47 名中 出席 28 名 出席率 62.23%

◎ニコボックス委員会 委員長 林昇  
会長・副会長・幹事の皆さん・・・本日は、パスト会長卓話  
という事で、山村パスト会長に卓話をお願いして  
おります。38 年皆出席を続けておられる山村さん、本日の卓話  
を聞いて勉強させていただきますとともに、非常に  
楽しみです。よろしくお願いたします。

早川、清水(公)、野口、杉浦、長尾、酒井、佐藤、東谷、  
清水(善)、土屋、後藤、林(昇)、西本の皆さん・・・パスト会  
会長 山村様 本日の卓話「元号“平成”と字名“平成”  
(へなり)を回顧」平成天皇が即位された 28 年前のお話、  
お聞かせください。エコピアの語源は、ユートピアとエ  
コロジーの造語で山村さんなしでは生まれませんでした。  
山村さんは水戸の御老公様です。ロータリーや武儀地区  
にとって本当に大切な人です。卓話よろしくお願い  
します。

清水(善)、後藤、岩倉、長尾、高井、亀井、長村、西田の  
皆さん・・・IGM の楽しい時間と美味しい料理ありがとうご

ざいました。ホストの土屋さん、ご馳走様でした。  
酒向徳享さん・・・バースデーカードありがとうございます。

◆IGM の報告 報告者 西田泰幸  
日時：10 月 17 日 (月) 午後 7 時  
場所：ひかり寿司 ホスト：土屋佳久  
リーダー：長尾一郎 R 情報：高井昭裕  
義務出席者：亀井高利・長村貢・西田泰幸  
特別出席者：清水善光・後藤信介・岩倉宏幸  
◆「元号“平成”と字名“平成”を回顧」  
パスト会長 山村誠示さん



1. 天皇陛下のお言葉  
天皇陛下のお言葉が平成 28 年  
8 月 8 日にあり、象徴天皇として  
のお気持ちを表明されました。  
生前退位の言葉を一切使わずに  
その意がにじむお気持ち表明で  
ありました。政府も天皇陛下の  
意に添うように生前退位を前向  
きに考えていこうとコメントを  
されていました。その後、女性  
宮家等々多くの問題があります  
ので、生前退位は今回限りとの  
課題と切り離して、有識者会  
議や国民の声を聴いて、皇室制度全般を考え静かに議論を  
行い早ければ来年の通常国会で法的整備を視野に入れて行  
いたいとの総理のお考えですので、今後 2 年内外に生前退  
位が行われると予測されます。平成の元号と同字の「へなり」  
という地名がある全国唯一の町であることから、旧武儀  
町に平成 3 年 1 月 8 日、日本平成村が立村されました。  
そして、町内の道の駅「平成」はまさに日本平成村のシン  
ボルとして建設されました。この美濃と飛騨を結ぶ花街道  
は「平成こぶし街道」と呼ばれ、往来の人々のオアシス、  
癒しの場となるよう、また、地域住民の憩いの場、人と人  
との交流の場、情報発信の場としてこの地域の活性化を図  
る為に建設されました。まさに日本平成村運動は、観光協  
会的手法の民間運動と行政の観光政策からの保護や支援と

いうこの両輪によって展開されてきました。平成時代も先が見えておりますが、本日は、「元号平成（へいせい）と字名平成（へなり）を回顧」と題して、お話を始めたいと思います。

## 2. 元号の発表と地元の動き

昭和64年1月7日午前6時33分天皇陛下が崩御され午後2時36分当時の小渕恵三官房長官が元号「平成」と発表されますと武儀町に字、平成と同字を書いて（へなり）という地名がありましたので、「へなりや」「へなりや」と一騒動がおきました。当時の町長が、その反響に動揺されて市町村名を変えて「平成町」にしてはと提言され、反対者も出来て騒動が起きました。然しながら町名変更でなく、平成の二文字を生かした町おこしをと、当時私が商工会の会長をやっていたので、この点を模索しておりました。ここで、確認ですが、「平成」の名前の由来は、『史記』の「内平外成（内平かに外成る）」、『書経』の「地平天成（地平かに天成る）」からで、「国の内外、天地とも平和が達成される」との意味です。

## 3. 武儀県事務所からの突然の依頼

或る日武儀県事務所へ行きましたら当時の武儀県事務所産業労働課長の武内さんが、用事があるからと、別室に通されまして、県事務所としては、「集落間対立無き安定した行政の推進を民間活動の力によって実現してゆきたい。から、（註：構想者：岐阜県当時梶原拓副知事・2月知事就任、推進者：横倉脩副武儀県事務所長、窓口：武内章産業労働課長）この基本的考え方の基で、当時武儀町商工会長であった私に日本平成村運動の中心になって頂けないか。」というご依頼がありました。県が後押しをしていただけと言う事で、「渡りに船」でと申しますように、大船に乗る思いで快く承諾しました。当時武儀県事務所は5町村の行財政課題のうち武儀町の根本的課題である「集落間の対立の解消」に意を用いており、何としても解決したい課題であった。この背景の中での依頼であった。私の静かなる覚悟、それは、「盲蛇に怖じ気づ、混乱している社会を一つに纏める。」であった。

## 4. 理念・概念の探求と実践

武儀町民の心を一つにするには先ず町議会議員さんに賛同を戴くこと、幸いにして、多くの議員さんと好意にしておりましたので、27団体で武儀町観光協会を立ち上げ裾野を広げると、全町民が参加している組織になり、県事務所当局のご指導を頂きながら、役場職員及び実行委員と共に日本平成村の理念と概念、即ち人と自然との共生で、「エコピア構想：地球で一番すてきな田舎まち」を、キャッチフレーズとしてこの理念概念がまとまりました。つまり、持続可能な社会に向けて実現すべき目標である「自然との共生」「循環型社会」そして「低炭素社会」～環境・水・エネルギーを大切にする社会の実現～を意図としており、今から考えれば、「平成の時代」の特徴と性格をはっきりとつかんでいたと確信いたしております。ここで、エコピアとは合成語であり、エコロジー生物と環境＋ユートピア理想郷・理想的政治体制の意味であります。エコピア構想やエコピア平成の用語は、知的財産権の著作権の一つだと考えています。

## 5. 日本平成村村長の選出過程

日本平成村村長に付いて色々検討しました。昭和63年ぎふ中部未来博があった時の出会いが三田佳子さんと夫の高橋康夫さんでした。この出会いを思い出して、村長には三田佳子さんは如何と申しましたところ、そんな人は頼めないだろう、勿論ノーギャラですので、頼めればそれにこしたことはないと言う事でした。その時、県議会議員の船戸行雄さんと言う素晴らしい政治家が見えまして、その方が

幸いして、NHKの力のある役員の大原誠さんと親しい仲でしたので、船戸さんを通じて大原さんをお願いにNHKへ3回程上京し、3回目をお願いしましたところ、大体OK近い返事が頂けましたので、帰りの新幹線の中で船戸さんと相談して、知事さんに三田佳子さんへの依頼書を書いて頂きたくお願いしましたところ、親書快諾。三田佳子さんの日本平成村村長就任が決定となりました。誰を村長に迎えるのかという時、一つの閃きと人のネットワークの有難さがありました。

## 6. 日本平成村立村式（平成3年1月8日）

いよいよ日本平成村立村式を迎えることになりまして、来賓席には三田佳子さんを頭に、岐阜県知事、元号平成発表の当時の小渕官房長官、NHK役員の大原誠さん、県会議員の船戸行雄さん、其の他近隣の市町村長さんを始め50余名の来賓に御臨席賜り、会場は体育館会場にあふれるほどの大勢の参加者で盛大に立村式を行う事が出来ました。「へなり」の地元に文字通り「昭和から平成への架け橋」を作り渡り初めをしてもらいました。地元にはその後「平成公園」も出来ました。

## 7. 武儀町の様変わりは何故

その立村の後、日本平成村の理念概念の旗のもとで行政と日本平成村運動と両輪で平成3年～関市と合併する前の10年程で武儀町は大きく様変わりしました。その根拠は日本平成村の理念と概念を制度化事業に結び付けて、即ち「エコピア構想」を各事業に結び付け、事業展開させ、地球環境を理念にしておりますので、河川を汚染しないよう生活雑排水をなくす為、下水道公共枡100%を始め、花街道・平成こぶし街道（関市小屋屋～金山町迄）花街道センター併設の道の駅平成設置、道の駅には農林水産省のドーム、古里物産館、国土庁補助金も頂いたエコピアセンター、記念樹の日本一のこぶしの木等々枚挙に暇がないほどです。これらの日本平成村のシンボル施設に対して国・県をはじめとして、多くの公費を頂きました。

### (1) 初期の主な施設の建設経緯

平成4年度 用地取得・平成ふれあいドーム建設工事  
平成5年度 日本平成村花街道拠点センター建設工事・農畜産物処理加工施設建築工事  
平成6年度 武儀平成エコピアセンター建設工事・津保川ふれあい公園整備事業  
平成8年度 情報館建設（県）、道の駅「平成」オープン  
平成11年度 武儀町しいたけ園建設

### (2) 日本平成村花街道センターの施設概要

これは、三田佳子村長を迎えての拠点施設であり、地域活性化のための民間活動を公が大きく支援したものです。平成5年度事業（岐阜県補助事業）事業費 339,057千円（県補助 150,000千円、地方債 169,000千円、一般財源 20,057千円）床面積 564㎡（木造平屋建、瓦葺）機能・特産品展示販売、観光案内コーナー、休憩コーナー（喫茶・軽食40席）野外トイレ2棟 イベント広場800㎡

### (3) 武儀平成エコピアセンターの施設概要

この武儀平成エコピアセンターは、日本平成村運動に深く賛同された当時の県副知事のご尽力に負うところが大きかったと聞き及んでおります。平成6年度事業（国土庁補助、リフレッシュふるさと推進モデル事業）事業費 128,750千円（国庫補助 33,475千円、県補助 15,031千円、地方債 56,400千円、一般財源 23,844千円）床面積 503㎡（木造平屋建、瓦葺）機能＝環境情報コーナー、リサイクルルーム、ソーラーエネルギールーム、ふるさと伝承体験ルーム、ギャラリー

### (4) 道の駅の前に植樹した日本一のこぶしの木

この木は、大きな木ですので交通対策上、夜中に関東の地から運ばれ、花街道のシンボル・ツリーとなりました。

このように「構想」が地元で構築されていると、この「ビジョン」「理念」「概念」が地域の活力を生み出す源泉となり、同時に、もの事を形作っていく原動力なることが日本平成村運動の実践の中から体験的に示すことが出来たと思っています。ここで、理念概念の効用を考えてみますと、理念・概念（旗）は組織のビジョンのことを言います。そして、行政と民間とは政策推進の両輪となります。行政の側にとっては、縦割りの組織に理念概念の横串が入り、組織の中で情報の共有がなされて協働の土壌が出来ます。また、民間側にとっては、行政のお墨付きのある場合行政が事業の保護者となりますので、当該民間団体間の交流が理念概念の旗のお蔭で円滑に進められるようになります。結果として、行政と民間の両輪は政策推進のうでプロジェクトの実行性が担保され確実な成果が期待できます。

#### 8. 道の駅平成設置の経緯：岐阜県も特段の努力

花街道のこぶし街道が出来た頃ですが、道の駅を作るときは、先ず関から金山までを「こぶし街道」に指定して頂き、当時道の駅は国土交通省で国道しかできなかったものを、岐阜県の特段のご尽力で規約を変えて道の駅を花街道センターに併設して頂きました。だから、平成6年5月の花街道センターのオープン、平成8年7月の道の駅認定へと繋がりました。そして、道の駅には先程の施設が集積し、全国のまちづくり先進地事例として、日本全国北は北海道から南は沖縄、大学教授会まで視察に来られ、全国的に有名になりました。ここで、道の駅の数についてですが、全国で北海道に次いで岐阜県は2番目に多く、岐阜県には55箇所あります。

#### 9. 株式会社エコピア平成

平成4年5月22日、武儀町を含む第三セクター(株)エコピア平成を設立し、地元特産品の販売を開始しましたが、現在では資本金3000万円、従業員29人、道の駅の指定管理者として運営に携わっており、地元経済への経済効果・雇用効果を発揮しています。道の駅の施設として現在（駐車場・トイレ・電話・ふれあいドーム・情報コーナー・ギャラリー・広場一足湯・パン工房等）を持ち、平成椎茸すなっく等特産品を提供し、あゆ井一椎茸カツ丼・手打ちそば等々を提供しています。そして、美濃と飛騨を結ぶ「平成こぶし街道」を行き来する人々のオアシス・癒しの場となるように、また、地元住民の憩いの場・交流の場・地産地消の販売の場・情報発信の場としてのサービス機能を果たしています。道の駅の隣地に昨年10月開眼した「しあわせの気の森」の池への関心も高まってきております。本年は道の駅認定から20周年になりますので、来たる11月26日・27日の土日に記念のイベントが開催される予定です。

#### 10. 日本平成村生涯学習センター

このセンターは、平成9年度～平成11年度に建設され、施設の中には体育館も併設されており、私、教育委員もやって学校教育にも携わってまいりましたので、学校の卒業式や体育祭の時に挨拶で、「エコピア構想」の地球で一番すてきな田舎まちに相応した卒業式や体育祭にして頂きたいと、子供達がロマンを抱いてくれるように話をしたことを思い出します。日本平成村運動は、学校教育分野の面でも子供たちに夢と誇りと自信を与えていると思います。

##### (1) 日本平成村生涯学習センターの概要

このセンターの入り口に、当時立てた「日本平成村生涯学習センター」の石碑があります。○建設年度：平成9年度から平成11年度・事業費 2,230,352千円（県補助10,000千円、地方債1,827,800千円、一般財源392,552千円）床面積 5,823.99㎡、（鉄骨鉄筋コンクリート造 2階建）・機能：1階 アリーナ（体育館）、多目的ホール、会議室、創作活動室、マルチメディアセンター、和室、図書館

分館 2階 ランニングコース・ここで、子供達の夢や志について、子供達が大いなるロマンをもって、「エコピア構想」を育てて行ってほしいと念願しています。

#### 11. NPO法人日本平成村

その後、関市への編入合併によって、日本平成村が置き去りにならないように、日本平成村の理念概念が消滅して地域の人々が誇りを失ってはいけないと思い、全戸加入を目指してNPO法人を立ち上げ、日本平成村とその理念を恒久的に将来に残しておきたいと強く願い、全戸加入を目指して努力して、96%の参加を得ました。そして、平成18年2月24日、町域全体を区域とするNPO法人日本平成村の設立に至ったものであります。これは住民自治の「先駆的役割」を果たした事例の一つであると考えます。お蔭様で現在では、NPO法人日本平成村は武儀地域のまちづくり推進委員会の中心的役割を果たさせて頂いているところであり、この法人の顧問として地域の持つ強みや良さを失わないように努めております。

#### 12. 刃物ミュージアム回廊に寄せて

地域の活性化や地域振興は、行政と民間が両輪で進まないとなかなか前へは進まない。関市でも武儀町でも行政が計画し立てた事が民意によってつぶされていることがあります。刃物ミュージアム回廊について市役所に推進室長も設置され前向きに動き出すことは嬉しい事です。今関市にも大きなプロジェクトが組み込まれておりますが、民意で応援して行かないと心配です。「関川桜及び蛍保存会」が応援につながる組織に成ることが大切で、関市の観光の拠点として刃物ミュージアム回廊に「自然との共生や環境の要素」を加味して頂くと更に運動が盛り上がり行くものと思われまます。

#### 13. 結び：内平かに外成る

平成の意味は「内平かに外成る→地平かに天成る」ですが、本日のお話は、まさに、「内平かに外成る」の志を以って四分の一世紀をかけて町起こしを実践してきた物語になります。当初の県当局の念願通り地域が穏かに成り、地域が様変わりして活性化が実現できました。県のご指導とお支え頂いた多くの皆さんのお蔭の賜物とに深く感謝しているところです。元号平成（へいせい）と字名平成（へなり）が結合した町づくりの運動は約28年の年月の中で、元号の意味どおり初期の願いを達成したのではないかと自問自答しています。なお、この町起こしの歴史的な記録はこれまでまとめて来ませんでしたので、このお話を頂きました機会に、特に日本平成村運動の初期の秘話を含めこの運動については、当時の武儀県事務所産業労働課長武内章氏（元岐阜県南工労働部次長・商工農林部参与）に監修を頂いておりますことを申し添えます。本日のご出席の皆様にとって、お役に立つことが出来たならば幸いです。これで本日のお話を終了とさせていただきます。ご清聴有難うございました。

#### ◆幹事報告

◎近隣クラブの例会変更と休会通知

・関中央RC

次例会のご案内 11月5日（土）～6日（日）

「家族旅行・和倉温泉加賀屋」

担当：親睦活動委員会

\*\*\*\*\*

例会：毎週火曜日 12:30

例会場：岐阜県関市本町6-20 大垣共立銀行関支店2F

事務局：岐阜県関市平和通7-10-25 アメリカ2F